



ホーム>世界>西アフリカ ニジェール

一緒に歩もう!一緒に変わろう!「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう!

プログラム内容
2013年1月



現在

福島痛みから気づく西アフリカのニジェールとの絆

砂漠に種を一芽を出し、実を結ぶ次世代を養う



東日本大震災を通して、私たちは首都圏の電力が東北電力管内の福島県の原子力発電所から供給されていたという事実を知りました。もう一つ私たちの目を開いてくれたのは、その原子力発電所を動かすためのウランを提供していた国の一つが世界の最貧国・砂漠の国ニジェールだったという事実です。

1970年から東京電力、関西電力、中部電力など日本の電力会社が25%の権益を所有し、元宗主国フランス国営の原子力発電企業アレバ社によりアクーター・ウラン鉱山が掘削されてきました。

近隣の街アコカンでは、2009-10年に人体に有害なレベルの放射能に汚染されていることが明らかになり、除染が行われていました。2011年に福島県の原子力発電所事故を経験し、今も続く目に見えない放射能による人体への影響という課題に直面しているのは、日本やウクライナだけでなく、資源を提供してきた最貧国ニジェールも同じだったのです。

「声なき者の友の輪」(FVI)で国際交流を担当する私は、2010年に西アフリカ・ガーナでの「隣人を愛する習慣づくり」リーダー・リフレッシュ・コースで出会ったニジェールのワカンさん(写真右側)と2012年に再会しました。



2010年以来、彼は最貧国の母国ニジェールのために何をなすべきかを、この20年ほどニジェールで様々な角度から実施された開発の結果からの学びを思い巡らしたそうです。その結果、故郷の町で「真実の世界観と人間観」「隣人を愛する習慣作り」の教えを組み込み、学んだことを短期間で実践に移し、達成できたことや失敗したことを振り返りながら、心と身体で「概念」を身につけるというリーダー養成の訓練会を始めることが最も大切なのだという結論に達したそうです。こうして、昨年からの理念に基づいた「次世代リーダー訓練会」が始まりました。



「声なき者の友の輪」では、ニジェールに本当の豊かさがもたらされるようにと、ワカソさんがたどり着いた結論で始められた、若い世代を養い育てる新しい型の訓練会をぜひ、応援したいと願い、以下の協力を2013年から始めました。

- 継続フィードバック実践研修会が安定して行われるため 月40万円
- 訓練を受けた研修生たちが各自の村人の生活向上のためのプロジェクトを始めるための種資金 年20万円
- 日本国内管理運営費用

<パートナーになる方法>

ニジェールへの経済的支援と共に、励まし、質問などを通してニジェールの方々との交流を希望される方は、「声なき者の友の輪」info@karashi.net にご連絡ください。

ご送金の場合は、郵便振替で通信欄には「ニジェール」と指定して下記の口座にお振込みください。

郵便振替

口座名:FVI口座番号:00180-0-300201

[Share](#) |

[ホーム](#) [活動内容](#) [FVIの特徴](#) [参加する](#) [寄付・献金](#) [お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

